

# 知っちょる？ 統計やまぐち

## 150 還暦（60 歳）を迎えたらどんな働き方？

令和 6 年 2 月 15 日掲載

皆さんは、ご自身が還暦を迎えた後、どのような働き方をしていると思われますか。

少子高齢化が急速に進行し人口が減少する中で、2021 年 4 月からは、65 歳までの雇用確保義務に加え、70 歳までの就業機会確保が事業主の努力義務とされるなど、働く意欲のある高齢者の活躍が大いに期待されているところです。

そこで今回は、60 歳以降の働き方の現状について、22 年 10 月に実施された総務省「就業構造基本調査」の結果から考えてみることにしましょう。

山口県の 60 歳以上人口は 54.3 万人で、このうち有業者は 17.1 万人、有業率は 31.4% となっています。

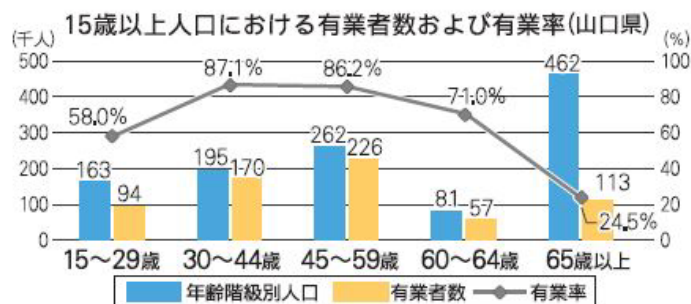
これを「60～64 歳」と「65 歳以上」の年齢区分でみると、「60～64 歳」の有業率は 71.0% と 7 割を超えており、「65 歳以上」でも 24.4% と約 4 人に 1 人が有業者という結果でした。

次に、就業している産業についてみると、性別、年齢で傾向が異なっており、男性の「60～64 歳」は製造業が最も多く、次いで建設業が多くなっていますが、「65 歳以上」は農業・林業、建設業の順となります。

一方、女性の「60～64 歳」は医療・福祉が最も多く、次いで卸売業・小売業、「65 歳以上」では卸売業・小売業、医療・福祉の順に多くなっています。

今後の就業の意向については、男女とも、「60～64 歳」の有業者では約 9 割の方が、「65 歳以上」でも約 8 割の方が、今後も仕事をしたいと回答しています。

いかがでしたか。この結果から、皆さんはどう思われたでしょうか。



60歳以上で男女別就業者が多い産業(上位3位)

	男 性		女 性	
	60～64歳	65歳以上	60～64歳	65歳以上
第1位	製造業	農業、林業	医療、福祉	卸売業、小売業
第2位	建設業	建設業	卸売業、小売業	医療、福祉
第3位	卸売業、小売業	卸売業、小売業	製造業	宿泊業、飲食サービス業

出典:総務省「令和4年就業構造基本調査」